

平成 26 年 4 月 24 日

日本技術士会 原子力・放射線部会  
日本原子力学会 教育委員会・技術者教育小委員会 共催  
新技術士講習会議事録（案）

日 時：平成 26 年 4 月 18 日（金） 13:00～16:00

場 所：日本技術士会 荻手第 2 ビル 5 階 A, B 会議室

出席者：

- （来賓） 高木専務理事、工藤教授（九大）、成合教授（筑波大）、柴田教授（KEK）  
（新技術士）河野繁宏、萩原利宣、高橋直樹、雨夜隆之、熊野陽一、千歳範壽、  
久我和史、神谷栄世、押立貴志 （順不同、敬称略）  
（部会） 林相談役、桑江部会長、園田副部会長、大橋副部会長、岡村副部会長、  
佐々木（聡）部会長補佐、青木幹事、阿部幹事、市川幹事、井口幹事、  
伊藤（晴）幹事、川辺幹事、中田幹事、山田幹事、横堀（記）

## 1. 議題

- （1）開会の挨拶
- （2）来賓から合格者への祝辞
- （3）新技術士のための講習
  - ・日本技術士会の活動と技術士登録について
  - ・CPD 登録、APEC エンジニア登録、EMF 国際エンジニア登録、技術士の特典について
  - ・原子力・放射線部会の活動について
  - ・平成 26 年度技術士二次試験について（一次合格者向け）
- （4）写真撮影
- （5）技術士合格者の自己紹介
- （6）先輩技術士からの祝辞
- （7）閉会の挨拶

## 2. 配布資料

- ① 技術士登録と日本技術士会の活動について
- ② CPD 登録、APEC エンジニア登録、EMF 国際エンジニア登録、技術士の特典について
- ③ 原子力・放射線部会の活動

### 3. 議事内容

#### (1) 開会の挨拶

日本技術士会原子力・放射線部会を代表して、桑江部会長が新技術士講習会の開会挨拶を行った。

#### (2) 来賓から合格者への祝辞

来賓の高木専務理事、工藤先生、成合先生、柴田先生の各位から合格者への祝辞をいただいた。来賓から次のような励ましの言葉をいただいた、  
[高木理事]：技術士制度は、戦後。もの作り立国を表明した通産省の主導で発足したが、中小企業庁、国土交通省、農水省、厚労省他、各省庁に関連するため総理府の所管となった経緯がある（現在は、科学技術庁を経て文部科学省の所管）。地域経済振興や基盤技術の Patent 共有（Patent バスケット）に関する産官学連携における技術士の関与や、法務省民事局長通達による法廷鑑定人としての技術士の活用などの例をあげて、技術士活躍への期待が述べられた。

[工藤先生]：日本原子力学会の教育委員会として、10 年前に原子力・放射線部門の設立に関与した。今後、リスクコミュニケーションの実践が重要であると考えている。日本原子力学会は、ムラから脱していないと世間から見られがちである。公正・中立を義務／責務とする技術士の活躍に期待するところ大である。

[成合先生]：部門設立当時は日本原子力学会の副会長であった。1990 年代に技術士のあり方について議論があった。当時、機械学会では、細分化されていた分野を大括りにまとめることが検討されていた。しかしながら、JCO 事故を契機として、技術士の分野に原子力部門がないのがおかしいとの声が勝り、当部門の発足にいたった経緯がある。グローバル化に対応し、国際的に共通するものをどう取り込んでゆくかが大事であるが、日本社会そのものが変わってゆかないと小手先の制度変更のみで解決できるものではない。「今後の 10 年向けての部会のまとめ」を一読したが、大変良く出来ていると感じた。今後の活躍を期待している。

[柴田先生]：高レベル廃棄物の処分研究を巡って、幌延や瑞浪で、原子力機構が住民の理解が得られない状態にあることが残念である。廃棄物処理の問題で反対派と原子力機構の間に入って行くには技術士が適している。原子力・放射線部会はほとんどが組織に所属する技術士で、時間的に余裕がなく難しいが、社会に受け入れてもらえるようなアイデアが欲しい。技術士の活躍を期待している。

(3) 新技術士のための講習

① 日本技術士会の活動と技術士登録について

青木幹事から、試験合格から技術士登録にいたる手順について説明があった。また、日本技術士会の組織と活動状況を説明した。(配布資料①)

② CPD 登録、APEC エンジニア登録、EMF 国際エンジニア登録、技術士の特典、について

市川幹事から、CPD、APEC エンジニア、EMF 国際エンジニアの登録制度について説明があった。(配布資料②)

③ 原子力・放射線部会の活動について

伊藤(晴)幹事から、原子力・放射線部会の活動について説明があった。(配布資料③)

④ 26 年度技術士二次試験について (一次合格者向け)

中田幹事から、一次試験合格者に向けて今年度の二次試験の心構えについて、口頭にて留意点が述べられた。

(4) 写真撮影

新技術士を囲んで出席者全員による記念撮影を行った。

(5) 技術士合格者の自己紹介

講習会に参加した9名の新技術士から今後の抱負とともに自己紹介があった。参加いただいた新技術士の部門及び所属は下記のとおりである。

河野繁宏：設計・建設	東芝(府中)
萩原利宣：運転・保守	東電
高橋直樹：燃料サイクル	日本原燃
雨夜隆之：燃料サイクル	原子力規制庁
熊野陽一：燃料サイクル	日立パワーソリューション
千歳範壽：放射線利用	三菱マテリアル
久我和史：放射線利用	原安技センター
神谷栄世：放射線防護	富士電機
押立貴志：一次試験合格	国土交通省

(6) 先輩技術士からの祝辞

講習会に参加していた先輩技術士全員から新技術士への祝辞が述べられた。技術士登録をして部会幹事として活躍を期待する声が多くよせられていた。

(7) 閉会の挨拶

日本原子力学会教育委員会・技術者教育小委員会を代表して伊藤(晴)委員から閉会の挨拶を行った。

以上